

# 東京都看護人材実態調査（教育機関養成施設編）

## 調査票回答に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2030年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■回答に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、回答してください。

■回答方法等でご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】東京都ビジネスサービス株式会社（担当者：栗山、西）

電話番号：03（6426）0426

電子メールアドレス：tokyo-kango-chosa@tokyotobs.com

■ご回答いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、令和6年10月31日（木曜日）までに投函してください。（切手は不要です。）

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）※及び看護補助者に関するものです。※看護学生含む

○特に指定のない項目は令和6年9月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべての方に回答いただきます。

調査実施機関：  東京都保健医療局医療政策部医療人材課

お手数ですが、全ての調査項目について各課程ごと、大学にあっては、大学院、大学、専攻科ごとにお答えください。

## I 基本情報

### 「施設等の基本情報」についてお聞きします

※以下については令和6年9月1日現在で記入してください。

問1 貴施設の名称について、国又は都知事の許可を受けている名称を記入してください。

|  |
|--|
|  |
|--|

(例) 学校法人〇〇

問2 貴施設の住所を記入してください。

- |        |         |         |          |
|--------|---------|---------|----------|
| ① 千代田区 | ⑮ 杉並区   | 29 府中市  | 43 東久留米市 |
| ② 中央区  | ⑯ 豊島区   | 30 昭島市  | 44 武蔵村山市 |
| ③ 港区   | ⑰ 北区    | 31 調布市  | 45 多摩市   |
| ④ 新宿区  | ⑱ 荒川区   | 32 町田市  | 46 稲城市   |
| ⑤ 文京区  | ⑲ 板橋区   | 33 小金井市 | 47 羽村市   |
| ⑥ 台東区  | ⑳ 練馬区   | 34 小平市  | 48 あきる野市 |
| ⑦ 墨田区  | 21 足立区  | 35 日野市  | 49 西東京市  |
| ⑧ 江東区  | 22 葛飾区  | 36 東村山市 | 50 瑞穂町   |
| ⑨ 品川区  | 23 江戸川区 | 37 国分寺市 | 51 日の出町  |
| ⑩ 目黒区  | 24 八王子市 | 38 国立市  | 52 檜原村   |
| ⑪ 大田区  | 25 立川市  | 39 福生市  | 53 奥多摩町  |
| ⑫ 世田谷区 | 26 武蔵野市 | 40 狛江市  | 54 島しょ   |
| ⑬ 渋谷区  | 27 三鷹市  | 41 東大和市 |          |
| ⑭ 中野区  | 28 青梅市  | 42 清瀬市  |          |

回答

問3 貴施設の施設種別は次のうちどれですか。

- ① 大学院
- ② 大学
- ③ 看護師等養成所
- ④ 高等学校
- ⑤ 助産学専攻科

回答

問4 貴施設の設置者である団体・法人では、次の①～⑧の施設を運営していますか。運営している場合には、該当するものすべてに○を付けてください。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| ① 病院                  |  |
| ② 診療所                 |  |
| ③ 助産所                 |  |
| ④ 訪問看護ステーション          |  |
| ⑤ 介護老人保健施設            |  |
| ⑥ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） |  |
| ⑦ 有料老人ホーム             |  |
| ⑧ その他（具体的に：_____）     |  |

問5 令和12（2030）年までに課程や学生定員の変更予定はありますか？

- ① 有      ② 無

回答

【令和12（2030）年末までに変更の予定がある場合にお答えください。】

問5-1 どのような変更ですか。

- ① 学生定員増      ② 学生定員減      ③ 養成課程の変更  
④ 学科の増設      ⑤ 学科の廃止      ⑥ 専門職大学への変更      ⑦ 廃校

回答

## Ⅱ 看護教員の状況

「就業状況」についてお聞きします

【大学・大学院・助産学専攻科の方にお聞きします。】

問6 令和6年9月1日現在在籍している看護教員（休業休職者を含む）について、職位別に記入してください。

### 【注釈】

- 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入  
例）助産師と看護師の免許を所有し、主に母性看護学を担当している場合 ⇒ 「助産師」欄に記入
- 非常勤講師は看護職の資格をもち、「看護学」を教えている教員を記入（特任教員も含む）  
（週2日5時間の勤務の教員、非常勤講師等）
- 大学院と大学の両方に在籍されている看護教員は主たる方に人数を入れ、重複計上しないようにすること。

〈令和6年9月1日現在〉

（単位：人）

|         |     | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 合計 | 非常勤講師 |
|---------|-----|----|-----|----|----|----|----|-------|
| 専任教員の定数 |     |    |     |    |    |    |    |       |
| 看護教員    | 保健師 |    |     |    |    |    |    |       |
|         | 助産師 |    |     |    |    |    |    |       |
|         | 看護師 |    |     |    |    |    |    |       |
| その他の教員  |     |    |     |    |    |    |    |       |

【看護師等養成所・高等学校の方にお聞きします。】

問7 令和6年9月1日現在在籍している看護教員（休業退職者を含む）について、雇用形態別、就業形態別、職種別の教員数を記入してください。また、正規雇用の教員については年齢区分人数も記入してください。

【注 釈】

- 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入  
例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に母性看護学を担当している場合 ⇒ 「助産師」欄に記入
- 専任教員とは養成所指定規則に規定する資格を有する専任の教員のこと。
- 正規雇用 任期の定め（定年を除く）のない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。
- 非正規雇用 任期の定めのある雇用（再雇用含む）
- 常勤：学校で定められた勤務時間を全て勤務する教員（フルタイム）
- 非常勤：学校と雇用関係にあって常勤（フルタイム）でない教員のうち、看護職の資格を持ち、「看護学」を教えている教員を記入（週2日5時間の勤務の教員、非常勤講師等）

〈令和6年9月1日現在〉

（単位：人）

|     | 専任教員の定数 | 正規雇用 |         | 非正規雇用 |     |
|-----|---------|------|---------|-------|-----|
|     |         | 常勤   | 短時間正規雇用 | 常勤    | 非常勤 |
| 保健師 |         |      |         |       |     |
| 助産師 |         |      |         |       |     |
| 看護師 |         |      |         |       |     |
| 合計  |         |      |         |       |     |

|    | ～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70歳～ | 合計 |
|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| 常勤 |      |        |        |        |        |        |        |        |        |      |    |

6年後の令和12（2030）年の看護教員配置計画についてお聞きします

問8 6年後の令和12（2030）年9月1日現在の看護教員数は令和6年9月1日現在の実人数と比べてどうなる見込みですか。

- ① 増えている →問8－1へ
- ② 変わらない
- ③ 減っている →問8－1へ
- ④ わからない

回答

【問8で令和12（2030）年末までに看護教員の増減予定がある場合にお答えください。】

問8－1 令和12（2030）年末までの需要実人員の主たる増減理由を1つ選択してください。

- ① 学生定員数の変更
- ② 教育課程の変更
- ③ 教育体制・実習指導体制の充実、見直し
- ④ 勤務環境（ライフワークバランスに関する制度）の充実・見直し
- ⑤ 研修受講の充実・見直し
- ⑥ その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

回答

## 採用状況についてお聞きします

### 【注釈】

- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に回答してください。
- 非正規雇用・非常勤講師は含みません。
- 各年度の4月1日付採用に向け募集した人数と、実際に採用した人数を回答してください。

問9 令和5年度及び令和6年度の専任看護教員の募集及び採用人数について、職種別に回答してください。

|     | 令和5年度 |      | 令和6年度 |      |
|-----|-------|------|-------|------|
|     | 募集人数  | 採用人数 | 募集人数  | 採用人数 |
| 保健師 |       |      |       |      |
| 助産師 |       |      |       |      |
| 看護師 |       |      |       |      |
| 合計  |       |      |       |      |

問9-1 令和5年度及び令和6年度の専任看護教員採用者について年齢別、臨床経験別に人数を記入してください。

|       | ～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65歳～ | 合計 |
|-------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| 令和5年度 |      |        |        |        |        |        |        |        |      |    |
| 令和6年度 |      |        |        |        |        |        |        |        |      |    |

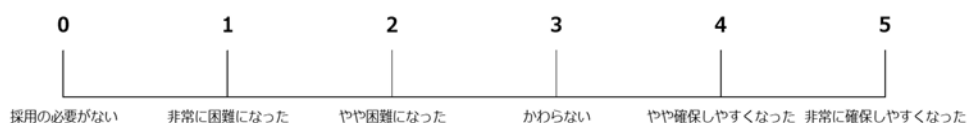
| 臨床経験  | 新卒 | 3年未満 | 3～5年未満 | 5～10年未満 | 10～15年未満 | 15～20年未満 | 20年以上 | 合計 |
|-------|----|------|--------|---------|----------|----------|-------|----|
| 令和5年度 |    |      |        |         |          |          |       |    |
| 令和6年度 |    |      |        |         |          |          |       |    |

※合計は、問9の合計と一致します。

問 10 看護教員の確保について、次の中で実際に行っているものすべてを選択し、○を付けてください。また、その中で最も効果があったと思うもの1つを選択し、◎を付けてください。

|                        | 行っている | 最も効果あり |
|------------------------|-------|--------|
| ① 教員養成課程修了（予定）者へのリクルート |       |        |
| ② 求人情報誌・看護系雑誌への掲載      |       |        |
| ③ インターネット上の教員公募サイト     |       |        |
| ④ 学校のホームページ・SNS 等      |       |        |
| ⑤ ナースバンク（無料職業紹介所）の利用   |       |        |
| ⑥ ハローワーク（無料職業安定所）の利用   |       |        |
| ⑦ 有料職業紹介事業者の利用         |       |        |
| ⑧ 自校同窓会等への働きかけ         |       |        |
| ⑨ 他教育機関教員への働きかけ        |       |        |
| ⑩ 自校の退職者を勧誘            |       |        |
| ⑪ 関係病院からの異動            |       |        |
| ⑫ 看護教員の口コミ             |       |        |
| ⑬ 看護教員実習生の受け入れ         |       |        |
| ⑭ その他（具体的に：_____）      |       |        |

問 11 看護教員の確保について 5 年前と比較してどう感じているかを 5 段階評価でお答えください。  
あてはまる回答の数値に○をつけてください。



|     |
|-----|
| 回 答 |
|     |

### 「退職」についてお聞きします

#### 【注釈】

- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入してください。
- 非正規雇用・非常勤講師は含みません。

問 12 令和 5 年度の専任看護教員の退職状況と主な理由別の内訳について記入してください。

|       | 令和 5 年度 |
|-------|---------|
| 退職者総数 |         |

（単位：人）

#### （内訳）

| 退職理由         | 人数 | 退職理由         | 人数 |
|--------------|----|--------------|----|
| ① 定年退職       |    | ⑦ 出産・育児      |    |
| ② 他校への転職     |    | ⑧ 職場の人間関係    |    |
| ③ 臨床現場への転職   |    | ⑨ 勤務の負担      |    |
| ④ 本人の心身の不調   |    | ⑩ 進学         |    |
| ⑤ 家族の健康・介護問題 |    | ⑪ 経済的に働く必要なし |    |
| ⑥ 転居         |    | ⑫ その他（_____） |    |

問 13 令和 5 年度の専任看護教員の退職者の勤続年数別の人数を記入して下さい。

| (単位:人) |       |         |         |          |           |           |        |    |
|--------|-------|---------|---------|----------|-----------|-----------|--------|----|
| 勤続年数   | 1 年未満 | 1～3 年未満 | 3～5 年未満 | 5～10 年未満 | 10～15 年未満 | 15～20 年未満 | 20 年以上 | 合計 |
| 退職者数   |       |         |         |          |           |           |        |    |

※合計は、問 12 の退職者総数と一致します。

「専任看護教員の研修等」についてお聞きます

問 14 専任看護教員の資質向上のための研修を学校内で実施していますか。

- ① 実施している (→問 14－1 へ)  
 ② 実施していない (→問 14－2 へ)

|     |
|-----|
| 回 答 |
|     |

【問 14 で「①実施している」を選択した場合にお答えください。】

問 14－1 どのような研修を行っていますか。

|  |
|--|
|  |
|--|

【問 14 で「②実施していない」を選択した場合にお答えください。】

問 14－2 外部の研修を利用していますか。

- ① 利用している (→問 14－3 へ)  
 ② 利用していない

|     |
|-----|
| 回 答 |
|     |

【問 14－2 で「①利用している」を選択した場合にお答えください。】

問 14－3 どのような研修を利用していますか。研修名、実施場所等をご記入ください。

例) 「中堅看護教員ブラッシュアップ研修」(東京都ナースプラザ実施)

|  |
|--|
|  |
|--|

問 15 専任教員の資質向上のためにどのような研修が必要です。具体的に記載してください。

|  |
|--|
|  |
|--|

- (1) 学生やその家族から看護教員等への暴力・ハラスメント対策
- (2) 看護教員等から学生への暴力・ハラスメント対策
- (3) 看護教員間でのハラスメント対策・メンタルケア

| 選 択 項 目                      | ( 1 ) | ( 2 ) | ( 3 ) |
|------------------------------|-------|-------|-------|
| ① 規定や指針、マニュアルの作成・見直し         |       |       |       |
| ② 施設内の研修実施・施設外の研修参加          |       |       |       |
| ③ 相談・通報窓口の設置                 |       |       |       |
| ④ 警備の強化（警備保障会社との契約、防犯機器の設置等） |       |       |       |
| ⑤ 対応事例の収集                    |       |       |       |
| ⑥ 外部機関による第三者評価の受審            |       |       |       |
| ⑦ ストレスチェックの活用                |       |       |       |
| ⑧ ストレス軽減のためのサポート（上司による面談等）   |       |       |       |
| ⑨ その他（具体的に：                  |       |       |       |

### Ⅲ 養成課程別学生の状況 ※養成課程別にご回答をお願いします。

入学状況についてお聞きします

問 17 養成課程は、次のうちのどのコースですか。

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| ① 保健師・助産師・看護師コース（大学・大学校） | ⑧ 看護師コース（２年課程全日制）     |
| ② 保健師コース（大学院）            | ⑨ 看護師コース（２年課程・定時制昼３年） |
| ③ 助産師コース（大学院）            | ⑩ 看護師コース（２年課程・定時制夜３年） |
| ④ 助産師コース（大学専攻科）          | ⑪ 看護師コース（２年課程・通信制）    |
| ⑤ 助産師コース（昼１年）            | ⑫ 准看護師コース（昼２年）        |
| ⑥ 保健師・看護師コース（統合カリキュラム）   | ⑬ 准看護師コース（昼３年）        |
| ⑦ 看護師コース（３年課程）           |                       |

問 18 令和 6 年度の 1 学年の定員数は何人ですか。また総定員数は何人ですか。

|         |  |
|---------|--|
| 1 学年定員数 |  |
| 総定員数    |  |

(单位:人)

問 19 令和 6 年度の応募・受験者数等について記入してください。

|      |      |      |      |       |
|------|------|------|------|-------|
| 応募者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 定員充足率 |
|      |      |      |      |       |

問 20 令和 6 年度の入学者を男女別、出身地（都内・都外）別に記入してください。

※出身地については、入学試験願書提出時の居住地とします。

|           | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----------|----|----|----|
| 入学者数      |    |    |    |
| (内数)都内出身者 |    |    |    |
| (内数)都外出身者 |    |    |    |

※入学者数の計は、問 19 の入学者数と一致します。

問 21 令和 6 年度の入学者の人数を年齢別に記入してください。

|      | ～19 歳 | 20～24 歳 | 25～29 歳 | 30～34 歳 | 35～39 歳 | 40～44 歳 | 45～49 歳 | 50～54 歳 | 55 歳～ | 平均年齢 |
|------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 入学者数 |       |         |         |         |         |         |         |         |       |      |

※入学者数の計は、問 19 の入学者数と一致します。

問 22 学生の確保について、次の中で実際に行っているものすべてを選択し、○を付けてください。また、その中で最も効果があったと思うもの 1 つを選択し、◎を付けてください。

|                           | 実施済<br>(複数) | 効果あり<br>(1 つ) |
|---------------------------|-------------|---------------|
| ① 教育内容の充実、ユニークな教育活動       |             |               |
| ② ホームページの充実、頻繁な更新         |             |               |
| ③ 入学試験における科目や形態の変更、多様化    |             |               |
| ④ 入学試験における推薦枠の拡充          |             |               |
| ⑤ 入学試験における社会人枠の拡充         |             |               |
| ⑥ 高校訪問、勧誘活動               |             |               |
| ⑦ 男子校への勧誘活動               |             |               |
| ⑧ 学校説明会・オープンキャンパスの開催、随時受付 |             |               |
| ⑨ 高校が行う進路説明会等への参加         |             |               |
| ⑩ 業者が行う合同進学説明会等への参加       |             |               |
| ⑪ 学費の減額制度                 |             |               |
| ⑫ 奨学金制度のある病院とのタイアップ       |             |               |
| ⑬ 学校独自の奨学金制度              |             |               |
| ⑭ 東京都看護師等修学資金等の積極的案内      |             |               |
| ⑮ 専門実践教育訓練指定講座としての認定      |             |               |
| ⑯ 外国人学生の積極的な受入れ           |             |               |
| ⑰ 校舎整備（改築、改修等）            |             |               |
| ⑱ 学生寮の整備・学生用住宅の確保         |             |               |
| ⑲ 高等教育の修学支援制度             |             |               |
| ⑳ その他（具体的に： ）             |             |               |

問 22－1 問 22 で⑪の「学費の減額」を行っている場合、行っている免除の種類に○をつけてください。また、対象学生の主たる要件の該当するものに○をつけ、減免した人数を記入してください。

| 免除の種類   | 行っているもの | 対象学生         | 減免人数 |
|---------|---------|--------------|------|
| 入学料免除   |         | 低所得・成績優秀・その他 | 人    |
| 授業料全額免除 |         | 低所得・成績優秀・その他 | 人    |
| 授業料半額免除 |         | 低所得・成績優秀・その他 | 人    |
| 授業料一部免除 |         | 低所得・成績優秀・その他 | 人    |
| その他（ ）  |         | 低所得・成績優秀・その他 | 人    |

問 22－2 問 22 で⑫、⑬、⑭、⑮を行っている場合、行っている(案内している)奨学金に○をつけてください。また、令和 6 年度の利用人数と入学前に予約している利用人数を内数で記入してください。(2 種類以上利用している場合、それぞれに計上してください。)

| 修学資金等の貸付金の種類                                | 実施又は案内 | 人数 | うち入学前予約人数 |
|---------------------------------------------|--------|----|-----------|
| ① 東京都看護師等修学資金貸与（貸与月額：25,000 円～100,000 円のもの） |        |    |           |
| ② 都内の病院等に就業することで返還が免除される貸付金（上記①を除く）         |        |    |           |
| ③ 都外の病院等に就業することで返還が免除される貸付金                 |        |    |           |
| ④ 学校独自の奨学金（給付型）                             |        |    |           |
| ⑤ 学校独自の貸付金                                  |        |    |           |
| ⑥ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金（給付型）                   |        |    |           |
| ⑦ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金 第一種（無利息）               |        |    |           |
| ⑧ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金 第二種（利息有）               |        |    |           |
| ⑨ 東京都育英資金                                   |        |    |           |
| ⑩ 病院とタイアップした奨学金<br>（具体的に： ）                 |        |    |           |
| ⑪ 専門実践教育訓練給付制度                              |        |    |           |
| ⑫ その他（具体的に： ）                               |        |    |           |

### 退学についてお聞きします

問 23 令和 5 年度の退学者の人数を学年別に記入してください。( )内には、男子の人数を内数で記入してください。

|      | 1 年生 | 2 年生 | 3 年生 | 4 年生 |
|------|------|------|------|------|
| 退学者数 | ( )  | ( )  | ( )  | ( )  |

問 24 令和 5 年度の退学者の退学理由別の人数を、学年別に記入してください。（ ）内には、男子の人数を内数で記入してください。

|       | 1 年生 | 2 年生 | 3 年生 | 4 年生 |
|-------|------|------|------|------|
| 学力・成績 | ( )  | ( )  | ( )  | ( )  |
| 健康    | ( )  | ( )  | ( )  | ( )  |
| 進路変更  | ( )  | ( )  | ( )  | ( )  |
| 経済的   | ( )  | ( )  | ( )  | ( )  |
| その他   | ( )  | ( )  | ( )  | ( )  |
| 計     | ( )  | ( )  | ( )  | ( )  |

※学年別の計は、問 23 の学年別の内訳と一致します。

問 25 令和 5 年度の国家試験及び准看資格試験の受験者数と合格者数を記入してください。

|      | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 |
|------|-----|-----|-----|------|
| 受験者数 | ( ) | ( ) | ( ) | ( )  |
| 合格者数 | ( ) | ( ) | ( ) | ( )  |

※( )内には、既卒者の受験者数・合格者数を把握している場合、記載してください。

### 就職支援についてお聞きます

問 26 就職支援体制について、実施しているものに全て○をつけてください。

| 就職支援体制                    | 実施 |
|---------------------------|----|
| ① キャリア教育                  |    |
| ② 就職資料室の整備                |    |
| ③ 専任就職相談員の配置              |    |
| ④ 兼任就職相談員の配置              |    |
| ⑤ 学校で就職説明会を実施             |    |
| ⑥ 先輩の体験を聞く会を実施            |    |
| ⑦ インターシップの案内と参加推奨         |    |
| ⑧ ナースバンク（東京都ナースプラザ）の出張説明会 |    |
| ⑨ その他（具体的に： )             |    |

問 26－1 問 26 の⑤の就職説明会を実施している場合、開催時期等についてお答えください。また、参加施設の種類のついて該当するものに○をつけてください。

| 開催時期 | 対象学年 | 参加施設                                       |
|------|------|--------------------------------------------|
|      |      | 都内病院・都外病院・診療所・訪問看護ステーション・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関 |
|      |      | 都内病院・都外病院・診療所・訪問看護ステーション・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関 |
|      |      | 都内病院・都外病院・診療所・訪問看護ステーション・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関 |

問 27 学生が希望する就職先として希望がある施設に丸を付け、人気のある施設を3つ選び、順位をつけてください。

| 施設の種類の               | 希望あり | 上位 3 つ |
|----------------------|------|--------|
| 200 床以上の病院           |      |        |
| 200 床未満の病院           |      |        |
| 精神科の病院               |      |        |
| 診療所（保険診療）            |      |        |
| 診療所（自由診療）            |      |        |
| 助産所                  |      |        |
| 訪問看護ステーション           |      |        |
| 介護保険施設等高齢者施設         |      |        |
| 障害者支援施設              |      |        |
| 児童福祉施設               |      |        |
| 行政機関（保健所、地域包括支援センター） |      |        |
| 看護師養成・教育機関           |      |        |
| その他（具体的に： )          |      |        |

問 28 学生が就職先を決めるに当たり、重点をおいているものは何ですか。重点をおいていると思うものを3つ選んでください。

- ① やりたい看護ができる（看護観）
- ② 興味のある分野（救急、小児、精神、在宅など）・施設
- ③ 新人研修等の教育体制が整っている
- ④ 勤務条件（給与・福利厚生・休暇制度など）がよい
- ⑤ ライフステージに合わせた多様な勤務形態がある
- ⑥ 専門資格取得等キャリアアップの機会・支援がある
- ⑦ 今の住居から通勤できる・通勤しやすい
- ⑧ 先輩や知人が就職している
- ⑨ 在籍する学校・養成所の関連病院・施設である
- ⑩ 実習した病院・施設である
- ⑪ 借りている貸付金の返還免除対象施設である
- ⑫ 家族の賛成がある

| 回答 |  |  |
|----|--|--|
|    |  |  |

**卒業後の進路についてお聞きします**

**問 29 令和 5 年度の卒業生の人数を、進路別に記入してください。**

|    | 看護系 |    |   |         |         |         |    |         |           | その他   |    |    |   | 合計 |    |
|----|-----|----|---|---------|---------|---------|----|---------|-----------|-------|----|----|---|----|----|
|    | 就職者 |    |   | 進学者     |         |         |    |         |           | 看護系以外 |    | 不明 | 計 |    |    |
|    | 都内  | 都外 | 計 | 大学<br>院 | 大学      |         | 短大 | 養成所     |           | 計     | 就職 |    |   |    | 進学 |
|    |     |    |   |         | 保健<br>師 | 助産<br>師 |    | 助産<br>師 | 看護<br>2 年 |       |    |    |   |    |    |
| R5 |     |    |   |         |         |         |    |         |           |       |    |    |   |    |    |

※「看護 2 年」とは、看護師 2 年課程です。

**問 30 令和 5 年度卒業生のうち、看護職員として就職した者の内訳を、施設種別、都内・都外別に記入してください。**

(単位: 人)

|        |  | 病院     |    | 診療所 | 訪問看護 | 助産所 | 介護老健<br>施設 | 高齢者施<br>設(老健<br>以外) | 社会福祉<br>施設(児童<br>福祉施設・<br>障害者施<br>設等) | 保健所<br>市町村<br>その他<br>行政施設 | その他 | 計 |
|--------|--|--------|----|-----|------|-----|------------|---------------------|---------------------------------------|---------------------------|-----|---|
|        |  | (内数)   |    |     |      |     |            |                     |                                       |                           |     |   |
|        |  | 200床未満 | 精神 |     |      |     |            |                     |                                       |                           |     |   |
| 都<br>内 |  |        |    |     |      |     |            |                     |                                       |                           |     |   |
| 都<br>外 |  |        |    |     |      |     |            |                     |                                       |                           |     |   |

※計は、問 29 の令和 5 年度の就職者の都内計、都外計の数と一致します。

※「精神」の欄には、精神病床数が 80%以上を占める病院に就職した人数を記入してください。

※「200 床未満」であり、「精神」に該当する病院に就職した者は、「200 床未満」の欄にのみ記入してください。

**問 30-1 問 30 で都外に就職した学生について、都外就職となった理由別に人数をご記入ください。**

| 都外就職となった理由                                 | 人数 |
|--------------------------------------------|----|
| ① 本人の住居が都外でその住居からの通勤が便利だから                 |    |
| ② 卒業後、本人が実家（都外）又はその近くにもどる予定だったため           |    |
| ③ 実習施設（都外）だったから                            |    |
| ④ 在学中に都外にある施設から修学の支援を受けていたから               |    |
| ⑤ 在学中にその施設がある他県の奨学金（従事による返還免除あり）を借り受けていたから |    |
| ⑥ ①～⑤以外の理由（その他の条件が合致）                      |    |
| ⑦ 不明                                       |    |

(单位:人)

[illegible]

問 32 卒業生の現在の就業動向等を把握するため、何らかの方策を実施していますか。(結果として、把握できていなくても構いません。)

- ① 実施している (→問32-1～2へ)  
② ない (→問33へ)

|     |
|-----|
| 回 答 |
|     |

【問 32 で「① 実施している」を選択した場合にお答えください。】

問 32-1 どのような方法で就業動向等の把握に努めていますか。当てはまるものすべてについて回答欄に○を付けてください。

|                                           | 実施 |
|-------------------------------------------|----|
| ① 同窓会誌などの連絡を通じて、把握している                    |    |
| ② 就業動向等を把握するための調査を実施している                  |    |
| ③ 転居・転職などの際は、知らせる仕組みになっている（ホームページ登録、メール等） |    |
| ④ ホームカミングデーを開催している                        |    |
| ⑤ 就業先へ連絡し、動向を確認している                       |    |
| ⑥ その他（具体的に： ）                             |    |

【問 32 で「① 実施している」を選択した場合にお答えください。】

問 32-2 就業動向を把握する期間としては、卒後、何年程度を目安に行っていますか。

- ① 1年間  
② 3年程度  
③ 5年程度  
④ 10年程度  
⑤ それ以上

回答

問 33 卒業生の離職防止・定着支援を行っていますか。

- ① 行っている (→問33-1へ)  
 ② 行っていない (→問34へ)

|     |
|-----|
| 回 答 |
|     |

【問 33 で「① 行っている」を選択した場合にお答えください。】

問 33-1 卒業生の離職防止・定着のため、実施している取組を回答してください。

|                    | 実施 |
|--------------------|----|
| ① ホームカミングデーや同窓会の開催 |    |
| ② 在校生等との交流会の実施     |    |
| ③ 卒業生に向けた掲示板の利用    |    |
| ④ 相談窓口の設置          |    |
| ⑤ その他(具体的に: )      |    |

#### 実習施設についてお聞きます

問 34 実習施設の所在地が学校所在地と同区市内か等について当てはまる番号欄に○をつけてください。  
 施設の場所が複数ある場合は、当てはまる全ての番号に○をつけてください。

| 実習施設の種類    | ①学校所在地と<br>同じ区・市内 | ②学校所在地の<br>近隣区・市内 | ③都内(①②以<br>外) | ④都外 |
|------------|-------------------|-------------------|---------------|-----|
| 病院         |                   |                   |               |     |
| 助産所        |                   |                   |               |     |
| 訪問看護ステーション |                   |                   |               |     |
| 保育所等       |                   |                   |               |     |
| 高齢者施設等     |                   |                   |               |     |
| 障害者支援施設等   |                   |                   |               |     |
| 地域包括支援センター |                   |                   |               |     |
| 行政機関(保健所等) |                   |                   |               |     |
| その他        |                   |                   |               |     |

問 35 実習施設に支払っている謝金について施設の種類ごとに平均単価をご記入ください。また、年間定額で支払っている場合は定額の欄にご記入ください。

| 実習施設の種類    | 施設使用料<br>(1 日あたり) | 学生指導料<br>(1 人につき) | その他費用 | 定額(1 年間) |
|------------|-------------------|-------------------|-------|----------|
| 病院         | 円                 | 円                 | 円     | 円        |
| 助産所        | 円                 | 円                 | 円     | 円        |
| 訪問看護ステーション | 円                 | 円                 | 円     | 円        |
| 保育所等       | 円                 | 円                 | 円     | 円        |
| 高齢者施設等     | 円                 | 円                 | 円     | 円        |
| 障害者支援施設等   | 円                 | 円                 | 円     | 円        |
| 地域包括支援センター | 円                 | 円                 | 円     | 円        |
| 行政機関(保健所等) | 円                 | 円                 | 円     | 円        |
| その他        | 円                 | 円                 | 円     | 円        |

問 36 実習施設の確保等の状況で当てはまるものすべてについて回答欄に○を付けてください。

|                          | 全て |
|--------------------------|----|
| ① 特に問題はない                |    |
| ② 実習施設が不足している            |    |
| ③ 実習施設の受け入れ条件(時期、制約)が厳しい |    |
| ④ 実習受け入れ人数の制限が厳しい        |    |
| ⑤ 実習先の看護師スタッフが不足している     |    |
| ⑥ 実習生の受け持ち患者が不足している      |    |
| ⑦ 実習施設に係る看護教員が不足している     |    |
| ⑧ その他(具体的に： )            |    |

#### IV その他について

問 37 平成 27 年 10 月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、看護業務から離職した場合に住所、氏名等をナースセンターに届け出ることになっています。教員になる場合にも届け出が必要ですがこのことを教員に周知していますか。

- ① 周知している  
② 周知していない

|     |
|-----|
| 回 答 |
|     |

問 37-1 将来、離職した場合の手続きとして学生には周知していますか。

- ① 周知している  
② 周知していない

|     |
|-----|
| 回 答 |
|     |



問 41 デジタル教材や学生の PC・タブレット等を導入していない理由を選んでください。(複数回答)

- ① 学校の予算や学校設備などに制約があるため
- ② 従来通りのデジタルに関わらない教育を維持する方針であるため
- ③ 運用にかかわるルールやガイドラインが定められていないため
- ④ DX 人材やマンパワーが不足しているため
- ⑤ その他(具体的に: )

問 42 DX を推進するために実施している取組として、当てはまるものすべてに○をつけてください。

|                                              | 実施 |
|----------------------------------------------|----|
| ① DX 推進のために学内に人材を配置                          |    |
| ② ICT を活用するための研修等を開催                         |    |
| ③ 専門的知識を有する外部の人材に支援を受けられる体制                  |    |
| ④ 教員 1 人 1 台の端末を導入                           |    |
| ⑤ 学生 1 人 1 台の端末を導入                           |    |
| ⑥ 通信環境の整備                                    |    |
| ⑦ ICT 機器の整備 (教材作成のための機材含む)                   |    |
| ⑧ 学習支援システム (LMS) の整備                         |    |
| ⑨ オンライン会議システム (ZOOM®・Microsoft Teams®など) の活用 |    |
| ⑩ 実習施設において PC・タブレットを使用できる体制                  |    |
| ⑪ 先駆的な取組をしている他施設との情報共有                       |    |
| ⑫ その他 (具体的に: )                               |    |

問 43 現在、最も活用しているものを選んでください。

|                | アプリまたはソフトウェアで一元管理 | クラウドのみで管理 | Closed システムでの管理 | SNS でのやり取り | 対面で記録・管理 | その他 |
|----------------|-------------------|-----------|-----------------|------------|----------|-----|
| 学生の個別連絡        |                   |           |                 |            |          |     |
| 学生への資料配布       |                   |           |                 |            |          |     |
| 学生の課題のやり取り     |                   |           |                 |            |          |     |
| 学生の終講試験の実施     |                   |           |                 |            |          |     |
| 学生の実習記録        |                   |           |                 |            |          |     |
| 学生の成績管理        |                   |           |                 |            |          |     |
| 学生の出席管理        |                   |           |                 |            |          |     |
| 学生の毎日の健康管理     |                   |           |                 |            |          |     |
| 学生へのアンケート調査    |                   |           |                 |            |          |     |
| 教職員との連絡        |                   |           |                 |            |          |     |
| 教職員との資料・議事録の共有 |                   |           |                 |            |          |     |

最後にご意見等ございましたら、ご自由にご回答ください。

以上で調査は終了です。  
御協力いただき誠にありがとうございました。

※調査内容に齟齬等がある場合にご連絡する場合がございます。

差し支えなければ、ご連絡先をご記入ください。

【ご担当者】 所属部署：

氏 名：

連 絡 先：

#### ＜東京都からのお知らせ＞

東京都は、看護職員の養成・定着・資質向上・再就業等を目的に、様々な看護人材確保施策に取り組んでいます。

※詳細は、各リンクよりご覧ください。

##### ○新規養成

- ・ 看護師等修学資金
- ・ 看護師等養成所運営費補助事業
- ・ 看護師等養成所施設整備費等補助事業